



ホームページ・http://www.ys-chubu.jp/

2009年6月号

「主題」・スローガン

- 国際会長 : 「希望の灯となろう」・「分かち合いは微笑をもって」
 アジア地域会長 : 「希望の灯となろう」・「より良き奉仕のために共に働こう」
 西日本区理事 : 「思いやりを持ってワイズライフを！」
 中部部長 : 「楽しくワイズ、スクラム組んで」
 プラザクラブ会長 : 「学びを深めつつ、着実な活動を！」

【強調月間: 評価・計画】

6月例会・今後の予定ご案内

【6月第1例会 (POM)】

日時: 6月20日 (土) - 21日 (日)
 集合時間: 現地 16:00
 場所: ホテル美輝 0576-47-2641
 〒509-2615 岐阜県下呂市馬瀬西村 1695

【6月第2例会】

日時: 6月11日 (木)・18:45-
 場所: 名古屋YMCA会議室
 出席者: 役員 (大島・櫛田・松永)
 (義務者) 7月担当者 (高田・鈴木)
 8月担当者 (島崎・松永)

◆今月は第1・2例会の日順が逆です。ご注意ください。

【今後の予定】

- 第12回西日本区大会
 日時: 6月6日 (土) - 7日 (日)
 場所: 大会会場・熊本市民会館
 - 中部部会次期役員引継ぎ式
 日時: 6月13日 (土)・14:00-
 場所: 名古屋YMCA 3F会議室
 - 老人介護施設慰問
 日時: 6月28日 (日)・
 場所: アミーユ十番町 (052-364-5670)
 集合時間・場所: 11:30・小澤さん宅 (052-931-3317)
- ◇当日はオルガンの搬入、搬出のお手伝いをお願いします
- 日和田キャンプ場開設
 日時: 7月19日 (土) - 20日 (日)
 ◇20日は会館の清掃、グラウンドの草刈り作業です

第13回中部部会

日時: 9月6日 (日)・受付: 12:00
 場所: 名鉄ニューグランドホテル

◆例会および各種行事の出欠席は、連絡主事の万福寺さんへ
 開催前日の午後5時までにご連絡ください。

5月例会・その他行事の出欠表 (敬称略)

役員	会員氏名	出席者			算定
		1	2	M	
会長	大島 孝三郎	○	○		○
	小澤 幸男	○			○
書記	櫛田 守隆	○	○		○
直前会長	後藤 猛	○	○		○
	島崎 正剛		○		○
副会長	鈴木 誉三	○	○		○
	高田 廣		○		○
会計	松永 裕子	○	○		○
連絡主事	万福寺 昭美	○	○		○
広義会員	山本 茂樹				
ゲスト					
(M)=					
*メーキャップ					
*部会・Yの					
主催行事					
出席率合計・(算定合計/会員数)					100.0
1. ニコボックス・当月/累計		3700	44324		
2. オークション		0	31300		
3. 切手 (寄贈品含む)		13680	13680		
ファンド・当月合計/累計			89304		
◆次月号の寄稿者は後藤さんです。					
Eメール・moritaka_kushida@ybb.ne.jp					

5月第1例会報告

日時：5月14日(木)・18:45-20:30

場所：名古屋YMCA会議室

1. 次期中部部長役割の諸事項検討・大島

(1) 部長主題

ワイズの理念を胸に自信を持って活動しよう

(2) 活動方針(略)

(3) 活動計画

活動内容・時期・費用などもう少し具体的に、との意見があるため全項目を見直す。

(4) 行事予定(略)

(5) その他特記事項(略)

2. 中部部会開催案内パンフレット制作・大島

以下の手順で作成する。

- ・素案：櫛田→万福寺
- ・デザイン、コスト：万福寺
- ・検討：全員→万福寺
- ・印刷(300枚)：万福寺

3. YMCAからの連絡

09年度定期会員総会の案内・万福寺

日時：5月29日(金)・18:30-20:45

場所：名古屋YMCA 3F 会議室

1. 開会礼拝

2. 第1部・永年会員感謝表彰

・08年度ユースボランティア認証式

3. 第2部・総会議事

- ①08年度事業及び会計報告
- ②09年度事業方針及び予算計画
- ③常議員選挙の結果報告

4. 第3部・会食

4. 老人介護施設慰問日程調整・小澤

恒例の Hammond Organ による老人介護施設慰問の仮日程を6月28日(日)とし先方の都合を確認する。正式な日時、場所は5月第2例会に全員に連絡する。

5月第2例会報告

日時：5月28日(木)・

場所：名古屋YMCA会議室

1. 中部部会開催案内パンフレット制作・櫛田

- ・修正原稿：櫛田→万福寺
- ・印刷(250枚)：万福寺
- ・西日本区大会持参：島崎(100枚)
- ・残り150枚は大島会長挨拶文・申込書を同封の上、7月中旬西日本区役員、各部会部長、中部部会会員に配布する

2. 老人介護施設慰問確定・櫛田

日時：6月28日(日)・14:00-

集合時間：11:30

集合場所：小澤さん宅(052-931-3317)

場所：アミーユ十番町(052-364-5670)

3. 日和田キャンプ場開設・万福寺

日時：7月19日(土) - 20日(日)

清掃、草刈り作業をお願いします

4. 楽例会開催・大島

日時：8月8日(土)

場所：根の上キャンプ場予定

5. 四日市クラブ釣り大会・島崎

日時：10月17日(土)

場所：長良川河口

6. EMCシンポジウム・大島

日時：10月18日(日) or 25日(日)

場所：未定

7. パレット・キッズたちと釣り大会・鈴木

日時：11月21日(土)

場所：稲永公園

8. 10年度クラブ年間スケジュール

次期会長、ブリテン担当までご連絡ください

9. デリゲート案内報告

松永さん、原稿6月25日までにお願いします

切手をいただきました

名古屋東海クラブの八木さんから、50円切手200枚1万円分をご寄贈くださいました。誠にありがとうございます。毎月のブリテン郵送に活用させていただきます。

プラザメンバーのみなさん、八木さんにお会いの節はお礼の言葉をお願いいたします。

大島 孝三郎

E・メール活用のお奨め

情報委員会が以前から、各クラブのホームページの立ち上げや理事通信、各事業主任通信、クラブブリテンの閲覧を推奨している。

私は現在クラブ会長と次期中部部長を兼任している。その為に以前に比べて当然、やりとりする情報(紙と電子情報)の量は格段に多くなった。

次年度のロースターからは各クラブにメール委員(専任者を置くか、そうでなければ会長：プラザは鈴木会長)が登録され理事や部長からクラブへの連絡が便利になります。先ずメール委員に連絡が入り、必要に応じて受信者を選択して、す

ぐに転送したりも出来ます。以前ならば、先ず、紙で届きコピーして例会で配るか、口頭で発表していました。

Eメールを利用しないメンバーにはコピーしてからFAXまたは電話・携帯・口頭の方法が続けられます。注意しないと伝達が漏れたり遅れたりします。

私もEメールをよく活用するようになったのは、まだほんの1年位前からです。前に会長や主査を担当した7-8年前には電話とFAXが主流でした。携帯も使い始めたばかりでした。

パソコンは10年ほど前に購入しました。パソコン教室へは1年間籍を置き、通算で35日(朝-3時半)くらい通ったが、あまり実用には利用しなかった。パソコン利用の概要だけ知るのが目的であったため。「ワード」「エクセル」「パワーポイント」「インターネット」「Eメール」などの言葉は知ったが、実際に活用しているのはインターネットとEメールである。

まだ利用していない人は必要度の高いものだけを選んで使い始めてください。パソコン教室も昼間部、夜間部、随時の個人レッスンといろいろ有ると思います。こんなことは若い人には常識。70才以上の方で未だの方々にEメールの活用をお奨めしたくて書きました。

(大島 孝三郎)

続BFデリゲート報告・北村 久美子

最後の日は閉会式。ユースコンボケーション参加者の朝の祈り。そしてパワーポイントでの報告。韓国ユースの一人が写真家だそうで、彼女は素晴らしい記録写真を披露してくれました。

YMCA ヨーロッパ会長(主事)のお話があり、ボランティアとしての奉仕は主を賛美する。というようなお話をされました。実行委員からお礼の挨拶。国際会長のお礼の挨拶。厳粛な内に、大会旗の退場。そしてみんな横浜で会いましょうを大きな声で語り、握手を交わしました。帰りにITCのアール・ホスター氏がBFデリゲートと会いたいというので、出口で探しましたが見つかりません。困っていたら次期国際会長ケビンが見つけてくれました。ホスター氏と大会に参加できて良かったことや、横浜で会う約束を交わし、名残を惜しみました。

午後はプラハ方面に回って換えるメンバーと、明日帰国組に分かれました。私たち帰国グループ

は、私の計画で、レゴランドに出かけました。プラハ行きの方々のバスに同乗させて頂き、レゴランドへ。レゴで出来たお城やかわいいおうちの周りをまるでガリバーのように散策しました。子供も大人も遊べる楽しいレゴランドです。日本とは違い、ゆったりと並んで待つ人々。国民性でしょうか? 見習う面が多くありました。帰りは大型タクシーをチャーターし、楽しいおしゃべりが弾みました。夜は9名で、おしゃれに着飾ってレストランでお食事をしました。日曜日のレストランは早く閉まるので、その後、私の部屋で、「クラブ久美子???'」を開き、さよならパーティーをしました。楽しい夜はあっという間に過ぎて行きました。

BF デリゲート(パーシャルグランド)は、大会に参加する義務があります。すべてのプログラムに参加し、観光は唯一レゴランドのみでしたが、北欧のデンマークという国で、多くのワイズメンと出会い、再会し、交流をもて、また、学びの時間が持てたことに感謝いたします。

この経験を皆さんに語り、分かち合い、西日本区の発展(大げさかな)に少しでも生かされるなら、BF デリゲートの趣旨は十分に活用できたことになると思います。(終わり)

(西日本区事務所 担当職員 北村 久美子)

以上の原稿は、BF デリゲートを利用した北村氏より島崎ファンド主任が委託されたものです。

聖書に由来する語句・慣用句・諺

【この天地は滅びます。しかし、わたしのことは決して滅びることがありません。ただし、その日、その時がいつであるかは、だれも知りません。天の御使いたちも子も知りません。ただ父だけが知っておられます。気をつけなさい。目をさまし、注意していなさい。その定めの時がいつだか、あなたがたは知らないからです。(マルコの福音書・13:31-33)】

【この世はいずれ消滅する。無くなれば無価値です。価値を持つには永続しなければならない。人間も死ねば消滅して無になるが、人間は肉体と霊という意識体から成り、霊は永遠に存続します。ただ、永続の仕方は、悪霊たちと一緒に焼かれて苦しみながらの永続と、天国での光と自由と喜びの永続です。その永遠にあずかるにはイエスの言葉を自らの心(霊)に受け入れ、保つこと、と聖書は説いています。

そして天国に救いあげられる信仰には条件があります。ある思想を受け入れるかどうかは、選択の自由を与えて当人の決断に任せる方法と、脅しや強制で選択の自由を狭めて決断を促す方法があり、自由意志のもとで受け入れた者だけを神は受容者と認めています。

この「自らの決断で決定する=自由意志」が西洋社会の根幹にあります。『あらゆる分野で働く人は、この世の「自由を拡大する方向で」働くかぎり、福音活動をしていることになります。人の行為は、「人間の精神に選択の自由を拡大する度合いに応じて」、あるいは社会的にみれば「世の中に自由を形成する度合いにしたがって」価値をもつということになります。・・・富は、エンジョイされる手段である前に、貧しさの故に他者に隷従しないという自由を得るための手段です』(参考：聖書の理論が世界を動かす・新潮社)

Zoom・今どきの爺たち

毎年、ゴールデンウィークが過ぎた5月の中頃、同期入社の5人と1泊2日のゴルフ旅行をする。会社を辞め、「暑いから、寒いから、痛いから」と断るうちにお誘いが来なくなり、これ幸いとゴルフはやめたが、この集まりだけは楽しみにしている。今年もあと1日で4月が終わる。

仲間内とは言え120も打って迷惑はかけられないと、1年ぶりに打ちっ放しに行く。一番乗りと朝10時に着いたが、9時開場の練習場はジジィたちで打席の半分は埋まっている。久しぶりにクラブを握る。1球目は空振り、2球、3球目は打ち損ないのゴロ、4球、5球目はあらぬ方向に飛ぶ。打席を外して照れ隠しに屈伸運動をしながら周りを見る、みんな元気で上手である。昔の年寄りとはこんなにうまくなかった、ような気がする。

40年前、中日クラウンズを主催するCBC放送が、ゴルフ普及のため開校したゴルフスクールに二期生として入学した。橘田規、鈴木照雄など昭和40年代を代表するプレーヤーに教わるが、生来の運動神経の鈍さから一向に上達しなかった。それでもときどき通う練習場で出会う年寄りたちは、空振り、ゴロにスライスを連発する今の自分にそっくりだった。10球も打てばぜいぜいと肩で息をしながら、ベンチに座り込むジジィの姿はもう見られない。

『これまで、定年を迎え年金生活に入ると「余生を送る」イメージでとらえられがちだが、実際

には健康な人が大半を占める。65歳以降の20年あまりの期間は、青年期、壮年期と並ぶ、健康で充実した生活を送ることの出来る人生の一時期として位置づけるべきだろう。(4月17日付日経新聞「経済教室」より)』そこまで大上段に構えるつもりはないが、まあ、これからは与えられた余生をここそこに楽しみながら過ごそうと思う。(おわり)

ということで連休明けの10日、現役時代にお世話になった某商社の保養所で泊まり、翌11日は木曾駒高原CGでゴルフを楽しんだ。3日間の練習が効いたのか51・55・106と心配した120打以内に納まりホッとした。翌朝、早速、2日にかけて撮った写真をカメラ屋でプリントし、手紙を添えて5人の仲間に送った。

入社同期のみなさんへ

拝啓 先日は木曾駒高原の新緑の下、それぞれの病気の影を忘れて遊び、無事自宅にご帰還されたこととお喜び申し上げます。

さて、毎年この集いに写真を撮ってまいりましたが、もともとの無精も手伝いお渡しするのは翌年の同じ時期と、甚だ悠長なことでご迷惑をおかけしておりました。70歳を迎え「ゴルフ料金が安くなります」とフロントに優しく言われ「ああそうですか」と急いで免許証を探す自分を、昔の自分が横目で見ながら「歳をとったなあ」と言っているような気がしました。もう若いときの時間感覚では済まないと思うと変なことに気がせき、今日写真をプリントしてきました。

身体を氣遣っているのか、今回はみなさんの酒の量が少なかったようです。それでも昔々のお話から、病気、かみさん、孫の話まで面白おかしく会話が弾んだことが何より嬉しかった。出来上がった写真を見ると、ティーグラウンドに並ぶ面々の姿は往年を彷彿とさせますが、老化部分を隠せない浴衣姿は改めて「歳をとったなあ」と思う。まあ、みなさんそれぞれの感慨に耽りながら、下手な写真をご覧いただければ幸いです。

まずは、ごちゃごちゃして騒々しくてややこしい世の中ですが、お天道様から与えられた残りの人生を精一杯元気に過ごしましょう。

なお、下の文章はあるクラブの月報に載せる予定の原稿です。今回のために練習場へ行って感じたことをネタにしましたが、どうも元気なジジィは練習場だけではなく、身近に居たことを今回のゴルフで発見しました。拙い文章ですが、気が向いたら読んでください。 敬具